

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：天王町駅前もえぎ保育園	種別：地域型保育事業
代表者氏名：施設長 岩崎 好美	定員（利用人数）：17名（16名）
所在地：〒240-0003 神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町2丁目46-8 シアトルハウス	
TEL：045-444-9884	ホームページ： https://moegi-ikuenkai.ed.jp/tennocho/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 育援会	
職員数	常勤職員：5名 非常勤職員：5名
専門職員	保育士 8名 調理員 2名
	乳児室(0～2歳児室) 1室 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 1室 事務室 1室 職員休憩室 1室
	建物の構造：木造2階建て 建物延床面積：70.20㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

ひとりひとりの豊かな成長を促す為の落ち着いた雰囲気と保健的で安全な環境を提供する

*心地よく無理のない生活リズムの中で生活面、情緒面の安定を図ります。ひとりひとりを大切に、急がせることなく個性に合わせた成長の手助けをしていきます

*子育ての情報発信、家庭との連携により子どもにとってより良い環境作りに努力します

*安全と衛生には特に注意しお子さまを大切にお預かりします

【保育方針】

*健康的で安全な環境を作り常に心身の状態を観察し、快適に生活できるようにする

*ひとりひとりの子どもの生活リズムを重視して生理的欲求を満たし生命の保持と生活面情緒面の安定を図る

*保護者との信頼関係を築きながら保育を進めるとともに、保護者への支援に努める

【保育目標】

豊かな感受性を育み、人を大切にしようとする気持ちをもつ

主体的に判断し行動できるこども

～好奇心を持ち、様々な事を楽しむことのできる心～

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

天王町駅前もえぎ保育園は、相模鉄道本線天王町駅から徒歩1分にある小規模保育事業B型施設です。園舎は、交通の便が良い駅前のビルの1階にあります。運営法人は特定非営利活動法人育援会で、2018年4月に開園し、現在、0～2歳までの16名（定員17名）が在籍しています。子どもたちは、近隣の川沿いに咲く桜を見たり、日常的に地域の公園に散歩に行っています。卒園後の受け入れ協力の連携施設として、星川もえぎ保育園（系列園）、ゆめの樹保育園ほ도가や、スカイハイツ幼稚園があり、行事や外遊びで交流しています。

【園の特徴】

ワンフロアの保育室で、0～2歳児と一緒に過ごし、家庭的な雰囲気の中一人ひとりの子どもへ目が行き届きやすい環境で、きめ細やかな保育を行っています。急がせることなく子どもたちの個性に合わせた成長の手助けをしています。

保護者との連携を密にし、ホームページやアプリを活用して子どもの様子をわかりやすく発信しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月18日（契約日） ～ 2023年10月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 子どもに丁寧に関わり、子どもの発達を援助していく保育

少人数保育の良さを生かし、全職員が子ども一人ひとりの発達状況や家庭環境を把握し、子どもの言動の背景にある思いを考えながら気持ちを受け止めています。

0歳児の保育スペースは、居心地よく安心し、職員に甘えられる環境を整えています。月齢等の発達状況に応じてハイハイやつかまり立ち、歩く動作を身につけながら探索活動が主体的に行えるように、安全で衛生的な環境に配慮しています。子どもがゆったりと安心して過ごせるように、職員は子どもに寄り添い、目を見て優しく、笑顔で話しかけるようにしています。

1～2歳児は、日常的に同じ空間で保育を行っており、一緒に多くの時間を過ごしています。1歳児では身の回りのことに興味を持ち、やりたいという気持ちを育めるように援助しています。2歳児は食事、着替え、排泄、手洗い等身の回りのことを、職員に見守られながら自ら行っています。職員は、クラスに関係なく子どもたちに接し、子どもに無理強いせず「やってみたい」と思えるような声かけと励ましの言葉をかけています。子どもたちが自分でできたことに喜びを感じ、職員と共感しながら意欲や自信につながるように援助しています。

2. 職員同士の円滑なコミュニケーション

園は、職員同士のコミュニケーションを取り合うこと、伝え合うことを大事にし、週に1度の常勤会議、月に1度の全職員参加の職員会議で、全園児について全職員が把握しています。職員は、少人数で発言しやすい雰囲気の中で活発に議論し、日常の保育の中でも連携をとりながら全園児を見守り、子どもが楽しくのびのびと過ごせるよう援助しています。

3. 保育の質の向上を目的とした実践的な園内研修

今年度の園内研修の目的を「保育の質を高める」とし、職員二人一組をチームとして取り組んでいます。各チームは1年間のテーマを決め、「ディスカッション年間スケジュール」に沿って、子どもたちに提供できるより良い保育について話し合っています。その中で出た、手作りおもちゃの制作や、子どもたちの成長の手助けとなる対応等を、保育に取り入れるようにしています。

◇今後期待される点

1. 中・長期計画を反映した単年度事業計画の策定と実施状況の評価の明確化

園は「中長期の事業計画（2023～2025年度）」を策定し、「保育内容の充実」「人材育成」「保護者支援」等、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容を設定しています。単年度事業計画は行事中心の計画となっていますので、中・長期計画を踏まえ、年度内で取り組む課題を明確にして策定することが望まれます。また、実施状況の評価が行えるよう、達成状況や担当者の設定等を行なうことが期待されます。

2. プライバシー保護に配慮したマニュアルの作成

子どものプライバシーに配慮した保育を行い、水遊び等のマニュアルにはプライバシー保護に関する留意事項や配慮事項を記載しています。さらに、子どもや保護者のプライバシー保護についての姿勢や責務、配慮事項等を明確にした、プライバシー保護に特化したマニュアルの作成について、検討が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

天王町駅前もえぎ保育園
施設長 岩崎好美

初めて第三者評価を受審し、様々な運営、保育について振り返り、全職員で集まり話し合いを持つなど、日ごろから行っている取り組みを考える良い機会となりました。

保護者の方々にはお忙しい中アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。評価調査員の方々には、園をよくするためにひとつひとつ聞き取り、丁寧に耳を傾けていただきました。

今回、受審することでこれからの課題も見え、私たちが大事にしている「丁寧な保育」をこれからもより一層高めていきたいと思いました。子どもたち、保護者の方々にとっても心地よい居場所、また地域の課題に向き合い必要とされる保育園として努力しつづけていきたいと思えます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり